科目名	電気			担当講師	山田　茂雄
講師実務経験	本学専門学校　電気工事士講師11年				
対象学年	1　学年	対象専攻	ライティング専攻	授業形態	講義
期　間	3期・4期	総授業回数	13　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
3期	第二種電気工事士の資格取得を目標として電気基礎、材料、工具、機器、法令を修得する。
4期	電気工事士の筆記試験に必要な知識を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	10月17日	第二種電気工事士の筆記試験概要、電気工事と舞台照明工事の関連。
2	10月24日	舞台、劇場、ホールの建設現場の電気工事の実情と安全作業について。
3	10月31日	仮設ライブ会場の工事現場の電気工事の実情と安全作業について。
4	11月7日	電気工事の材料機器の名称を覚える。（電線、電気機器、配線器具）
5	11月14日	電気工事の材料機器の名称を覚える。（電線、電気機器、配線器具）
6	11月21日	電気工事の材料機器の名称を覚える。（材料、工具）
7	11月28日	電気工事の材料機器の名称を覚える。（工具、測定器）
8	12月5日	配線材料（金属管工事）の名称と用途を覚える。
9	12月12日	配線材料（金属管工事）の名称と用途を覚える。
10	1月16日	配線材料（ケーブル工事）の名称と用途を覚える。
11	1月23日	配線材料（ケーブル工事）の名称と用途を覚える。
12	1月30日	電気の法令及び検査方法
13	2月6日	電灯配線と複線図
14	2月13日	電気の基礎理論
15		

評価方法	定期試験点数(100%)、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：A
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	
注意事項	42時間中15時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	就職ガイダンス			担当講師	一岡永
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	1　学年	対象専攻	1年A組、B組	授業形態	講義
期　間	3期・4期	総授業回数	14　回	1回あたりの授業時間	45　分

期	修　得　目　標
3期	企業情報を収集し、就職計画を立てる。 応募書類を理解し、受験への備えを修得する。
4期	エントリーに向けた一連の流れを修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	10月17日	就職用写真の撮影準備について/自己PR作成のポイント
2	10月24日	求人検索方法、就職支援サイト利用方法について/志望動機作成のポイント
3	10月31日	応募条件について考える/志望動機、自己PR作成①
4	11月7日	志望動機、自己PR作成②
5	11月14日	履歴書作成練習
6	11月21日	エントリーシートの質問項目と解答例
7	11月28日	応募書類について
8	12月5日	進路について考える
9	12月12日	就職希望調査書配布説明
10	1月16日	履歴書作成練習
11	1月23日	筆記試験対策（一般常識）/エントリーシート作成練習
12	1月30日	筆記試験対策（SPI）/エントリーシート作成練習
13	2月6日	面接対策
14	2月13日	春休み中に出来る事/3月の求人公開に向けて

評価方法	3分の2以上の出席で「修得済」評価
評価	「修得済」評価（点数評価は行わない）
テキスト	プリント配布
注意事項	14時間中5時間の欠席で修得済評価不可=進級ができません（留年となります）

科目名	時事研究			担当講師	國本　昌秀
講師実務経験	元HTB北海道テレビ勤務（記者・デスク、ディレクター、プロデューサーなど）				
対象学年	1　学年	対象専攻	1年A,B組	授業形態	講義
期　間	後期	総授業回数	13　回	1回あたりの授業時間	45　分

期	修　得　目　標
3期	ニュース・時事問題を読み解くことで、日常生活の思考・行動への活用法を修得する。
4期	ニュースを日常生活の思考・行動に活用し、成人としての視野を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	10月17日	授業ガイダンス　習得目標について
2	10月24日	岸田政権就任1年
3	10月31日	直近のニュースについて
4	11月7日	直近のニュースについて
5	11月14日	直近のニュースについて
6	11月21日	直近のニュースについて
7	11月28日	直近のニュースについて
8	12月5日	2022年ニュース振り返り①
9	12月12日	2022年ニュース振り返り②
10	1月16日	2023年はどんな年
11	1月23日	直近のニュースについて
12	1月30日	直近のニュースについて
13	2月6日	直近のニュースについて
14	2月13日	講義振り返り

評価方法	定期試験点数、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	各回授業でプリント配布
注意事項	14時間中5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	舞台照明Ⅱ			担当講師	笹出　将太
講師実務経験	照明音響会社勤務				
対象学年	1　学年	対象専攻	ライティング専攻	授業形態	実習
期　間	3期・4期	総授業回数	20　回	1回あたりの授業時間	270　分

期	修　得　目　標
3期	ライブ実習やK-1ライブから,より実践的な基礎的実践力を修得する。
4期	コミュニケーション能力やチームとしての仕事の進め方、安全意識を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	10月18日	授業ガイダンス、仕込みおさらい、PINスポット操作について
2・3	10月25日 10月27日	ライブ実習準備、ライブ実習①
4	11月1日	デジタル機材の応用について
5・6	11月8日 11月10日	ライブ実習準備、ライブ実習②
7・8	11月15日 11月17日	ライブ実習準備、ライブ実習③
9	11月22日	K-1ライブ仮仕込み、想像とリアルの違いについて
10	11月29日	K-1ライブ仕込み
11	12月6日	K-1ライブ　データ修正
12	12月13日	事前準備の重要性について
13	1月17日	仕込みとチームワークの重要性について
14・15	1月24日 1月26日	ライブ実習準備、ライブ実習④
16・17	1月31日 2月2日	ライブ実習準備、ライブ実習⑤
18・19	2月7日 2月9日	ライブ実習準備、ライブ実習⑥
20	2月14日	実技試験、筆記試験対策

評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度（70%）平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など） 評価方法：B
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	
注意事項	120時間中41時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	CAD実習Ⅰ			担当講師	佐藤　直子
講師実務経験	建築士.インテリアコーディネーター				
対象学年	1　学年	対象専攻	ライティング専攻	授業形態	実習
期　間	3･4期	総授業回数	13　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
3期	PCとソフトの基本操作を修得する。
4期	CADの操作性と図面についての基礎知識を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	10月12日	授業ガイダンス
2	10月19日	基本操作について
3	10月26日	ショートカットについて　　課題（練習）
4	11月2日	縮尺について　　課題（定規製作）
5	11月9日	課題（定規製作）
6	11月16日	課題（原寸図製作）
7	11月30日	レイヤーについて
8	12月14日	課題（ブラインド製作）
9	1月18日	課題（ブラインド製作）
10	1月26日	製作図について（平面図.正面図.側面図）
11	2月1日	3D機能について　　課題（テーブル.）
12	2月8日	3D機能について　　課題（.椅子）
13	2月15日	シンボル登録について
14	－	
15	－	

評価方法	【B】 定期試験(50%)＋実技修得度(50%)、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	
注意事項	39時間中14時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません（留年となります）

科目名	TV照明Ⅰ			担当講師	竹平　耕一
講師実務経験	放送関連会社勤務、照明デザイナー				
対象学年	1　学年	対象専攻	ライティング専攻	授業形態	講義・実習
期　間	3期・4期	総授業回数	13　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
3期	テレビ照明の基礎知識および照明設備、人物の基本的なライティングについて修得する。
4期	スタジオ照明の基礎知識、スタジオ・現場の流れについて修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	10月12日	授業ガイダンス ／ 舞台とテレビの違い、舞台照明とテレビ照明の違い ／ （アンケートⅠ）
2	10月19日	テレビ照明の基礎知識
3	10月26日	スタジオの構造と設備 ／ 副調整室の設備
4	11月2日	調光システムの基礎 ／ 調光卓の操作について
5	11月9日	人物の基本的なライティング　Ⅰ ／ 明りの役割、光の方向について
6	11月16日	人物の基本的なライティング　Ⅱ ／ 光の方向と配分、光の質について ／ （K-1ライブに向けて）
7	11月30日	スタジオ照明の基礎知識　Ⅰ ／ フラットなライティング（1ショット）について ／ （　〃　）
8	12月14日	スタジオ照明の基礎知識　Ⅱ ／ スタジオ情報・報道番組など（2ショット以上）のライティング
9	1月18日	スタジオ・現場の流れ　Ⅰ　＜バラエティー＞ ／ 実際のライティング ／ （アンケートⅡ）
10	1月25日	スタジオ・現場の流れ　Ⅱ　＜音楽番組＞ ／ 実際のライティング
11	2月1日	スタジオ・現場の流れ　Ⅲ　＜ドラマ＞ ／ 実際のライティング
12	2月8日	スタジオ・現場の流れ　Ⅳ　＜ロケ・取材＞ ／ 実際のライティング
13	2月15日	スタジオ・現場の流れ　Ⅴ　＜中継番組＞ ／ 実際のライティング 3期4期の総括および試験対策
14		
15		

評価方法	定期試験点数(30%)実技習得度(70%)平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：B
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	各回授業にてプリント配布
注意事項	39時間中14時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	照明概論Ⅰ			担当講師	笹出　将太
講師実務経験	照明音響会社勤務				
対象学年	1　学年	対象専攻	ライティング専攻	授業形態	演習/講義
期　間	3期・4期	総授業回数	7　回	1回あたりの授業時間	270　分

期	修　得　目　標
3期	コミュニケーション能力やチームとしての仕事の進め方、下準備の重要性を理解、修得する。
4期	自身や他人の個性を見ることで、吸収する力を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	10月13日	授業ガイダンス。照明業務の各ポジションについて、照明の当て方について、コンソールトレーニング
2	10月20日	ライブ実習について、仕込み図、データ表の書き方、PINスポットの用途、キューシートについて
3	11月24日	K-1ライブ体制決め
4	12月1日	K-1ライブ打ち合わせ
5	12月15日	K-1ライブ反省会
6	1月19日	照明機材について、発想力トレーニング
7	2月16日	試験対策
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

評価方法	定期試験点数(100%)平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	評価方法：A
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	
注意事項	42時間中15時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	機材メンテナンス			担当講師	笹出　将太
講師実務経験	照明音響会社勤務				
対象学年	1　学年	対象専攻	ライティング専攻	授業形態	演習/講義
期　間	3期・4期	総授業回数	14　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
3期	各種工具等の正しい使用法を修得する。
4期	各機材、周辺機器の構造を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	10月14日	授業ガイダンス
2	10月21日	電源ケーブル、コネクターのメンテナンスについて①
3	10月28日	電源ケーブル、コネクターのメンテナンスについて②
4	11月4日	DMX、3Pキャノンケーブルのメンテナンスについて①
5	11月11日	DMX、3Pキャノンケーブルのメンテナンスについて②
6	11月18日	DMX、3Pキャノンケーブルのメンテナンスについて③
7	11月25日	アナログ機材メンテナンスについて①
8	12月2日	アナログ機材メンテナンスについて②
9	12月16日	照明卓、周辺機器のメンテナンスについて
10	1月20日	デジタル機材メンテナンスについて①
11	1月27日	デジタル機材メンテナンスについて②
12	2月3日	デジタル機材メンテナンスについて③
13	2月10日	デジタル機材の各特長について
14	2月17日	試験対策
15		

評価方法	定期試験点数(50%)実技修得度（50%）平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など） 評価方法：B
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	
注意事項	42時間中15時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	音楽Ⅰ			担当講師	鈴木　雅光
講師実務経験	イベント制作会社勤務				
対象学年	1　学年	対象専攻	ライティング専攻	授業形態	講義/演習
期　間	3期・4期	総授業回数	14　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
3期	1年前期の復習も兼ね、音楽と照明の関わりについて修得する。
4期	楽曲の譜面の進行手順を理解し、読譜力を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	10月14日	授業ガイダンス、コンサートの仕組み（照明の役割）ついて
2	10月21日	楽器及び演奏配置について
3	10月28日	楽器の大別について
4	11月4日	音楽ジャンルについて
5	11月11日	五線・小節線、音部記号、音符の種類・音符・休符について＃1
6	11月18日	音符・休符について＃2
7	11月25日	拍子について＃1
8	12月2日	拍子について＃２
9	12月16日	リハーサルマーク、演奏記号等について＃1
10	1月20日	演奏記号等について＃2
11	1月27日	譜割の手順について
12	2月3日	譜割・練習問題＃1
13	2月10日	譜割・練習問題＃2
14	2月17日	定期試験対策
15		

評価方法	定期試験点数(100%)平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：A
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	
注意事項	42時間中15時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）